



『夢を与えてくれた長期投資』

石井達也

『最初の投資は株価を追いかける日々』

私は現在25歳で『投資』をしています。

自分たちの世代で『投資』というと、多くの方が短期投資（デイトレード）をしているように思われるかもしれませんが。また自分の年齢で投資をしているというと、金融機関に何かしら関係があるのでは？と思う方いらっしゃるかもしれませんが、金融機関とはまったく違い、現場で肉体労働をしている作業員です。

毎日、体を使って働いているなかで、何か自分を変えたくて、たまたま株式投資というものと出会ったのです。

投資の世界を初めて知ったときは、短期投資の甘い誘惑に誘われ『一発逆転の人生』を狙っていました。しかし気づいたら『逆転ホームラン』を打った打者ではなく、打たれた投手の方になっていました。

短期投資をしていたときは本当に波乱の毎日で、不安なときは夜も眠れませんでした。

それまでの自分は夢もなく、と言うより自分の人生をあきらめていました。お金があるやつが偉い！と錯覚に陥っていたこともありました。

そして自分の投資においても、企業が『イイから、好きだから』という理由ではなく、『悪いこととしてようが、目立てばそれでいい』と株価ばかりを追う毎日を過ごしていました。

イライラした毎日が続き、大きな失敗を機に『投資とはなんなんだ？』と考える日々が続きました。

『“自立して堂々と生きていく”勉強会で学んだこと』

あるとき、ライブドアショック特集のテレビ番組があり『みんなはどうだったんだろう?』と気になってその番組を見ました。

ライブドアショックの激動の一日を放送していたのですが、そのなかにさわかみ投信の澤上社長が一人だけにこやかに笑っていたのです。

「まったく、よく笑えるわ。もしかしたら、作り笑顔かな？」

と思ったものの、どう見ても本当に穏やかな笑顔だったのです。あわてている様子など一つもないし……。

自分はどうしてもその笑顔が本当なのかどうか真偽を知りたくて、さわかみ投信の『自立して堂々と生きていこう』という勉強会に参加するために神戸まで出かけました。

そこで初めて澤上社長とお会いし、自分の経緯をお話ししました。そして返された言葉が

「その貯めたお金ってのは、いったい何に使うの？」

正直、自分はその問いに答えることはできませんでした。思い浮かんだものといえば『アクセサリー、服、車』くらいなもの。

自分はこれだけのために生きているのだろうか?と思うと、なんてちっぽけなんだと感じてしまいました。

「お金をカッコよく使おうや!世の中で本当にお金を必要とされているところに使う。カッコいいお金の使い方を考えたら面白いぞ!」

という澤上社長の言葉。本当に衝撃でした。まさか使い方を教わるとは思ってもみませんでした。

それに社員の方の熱い想いや夢……。他人の夢をバカにしていた今までの自分が、なんとも情けなく感じてしまいました。澤上社長と社員の方が笑顔で夢を語る姿に、自分の頭を鈍器で殴られたような衝撃を受けた一日でした。

『カッコいいお金の使い方を考える』

興奮冷めやらぬなか、帰りの車の中でずっと考え、真剣に出した自分の答えは『投資で得た利益で学校を建てよう！』でした。

お金というものを勉強していくうちに、日本という国がとても恵まれている国であり、また勉強をしたくても授業を受けることができないたくさんのお子どもたちがいることを知りました。海外では日本円にして月1万円くらいの給料しかもらえないという人が数多く存在します。私たちは知らず知らずのうちに、恵まれている国にいるということを忘れていたのかもしれない。

こうして恵まれた立場にいるのだから、その立場を利用して何か人のためにしてあげられることはないか？世のため、人のために良いことを行う。この行為も一つの『投資』だと考えています。

自分たちが学校を建てることによって、そこから巣立った子どもたちがまた世の中のために何かしてくれたら、もうそれだけで十分のような気がします。

たとえ、自分たちに何も返ってこなくとも、次の世代につながれば、ドンドン世の中は豊かで楽しくなるのではないのでしょうか。

『「経済的自立」は小さな一歩を踏み出すことから』

神戸の勉強会に参加してから一年。本当に毎日が勉強のような気がします。それは投資の勉強という意味だけではありません。

投資とは一つの選択肢であって、すべてではないからです。いろんな考え方・生き方を自分が選択していくものだと思っています。そして自分の生き方を、堂々と歩いていくことこそが人生ではないかと本気で思います。

自分はこの一年で、資産が大きく増えたということもありません。しかし、自分の夢や想いは想像を超えるようなとても大きなものになりました。こうして投稿をさせていただいていることなど、一年前の自分には全く想像もできなかったことです。

あのときの小さな一歩は、踏み出すのに勇気が必要だったかもしれないけれど、これが大きな一歩につながっているように思います。

お金が増えたわけではないけれど、とても心が豊かになりました。『経済的自立』とありますが、自分はもう精神的には『経済的自立』を果たしているのではないかと思います。

その一つの表現（行動）として、新たなことにチャレンジしています。それは、地元倉敷で、友人たちと何もない荒地から農業を始めたことです。

農業は、投資とまったく関係ないと思われるかもしれませんが。しかし、雨や雪が降る日もあれば、日照りが続く日もある。雑草もたくさん生えてくる。いつも同じような日が続くわけではないし、、種を植えてもすぐに芽が出るわけでもありません。

しかしどんな環境・条件においても、生命力のあるしっかりとしたものは土の中から芽をのぞかせます。ある意味、農業は長期投資にあい通じるものがあると思います。

芽が出てしっかり育つまで、一時的なものに振り回されるのではなく、自分が本当に好きな企業・本当に応援したい企業を信じて投資するということが大切ではないのかと思います。

『楽しい投資、それが「長期投資」』

冒頭にもお話ししたとおり、自分は『投資』をしています。以前とは違い、つまらない短期投資ではなくじっくりとした長期投資です。

単に投資というだけでなく、自分なりの考え方・生き方を考え練りこんだ長期投資です。長期投資は楽しく、自分の生き様のようにも感じています。ちなみに、今では毎日爆睡です(笑)

この一年で、自分はものすごく変わることが出来ました。これから、まだまだ先がある自分は、一体どんな人間になっているんだろうと思うと楽しみでなりません。

最後に、同世代の人に言いたいと思います。短期投資のころは夢も持っていなかった自分ですが、長期投資を始めてからもった夢が、小さな一歩からドンドン大きくなって叶ってきています。夢は絶対に叶うと信じています。もし何か一歩を踏み出すのに戸惑っているのなら、勇気を出して踏み出してもらえたらと思っています。

「オレ達は自由なんや〜!!!」

またこうやって皆さんと会える日を楽しみにしています。ありがとうございました。